

# 南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 33 週 2025 年 8 月 11 日 ~ 2025 年 8 月 17 日

## 今週のコメント

南丹保健所管内では、**伝染性紅斑(リンゴ病)**が警報レベル解除になりました。

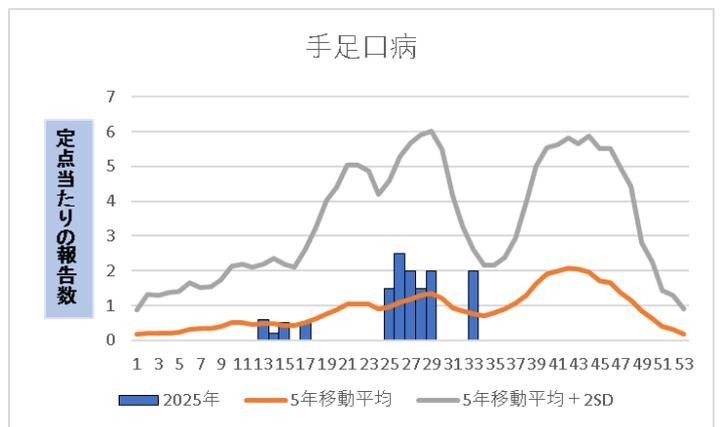
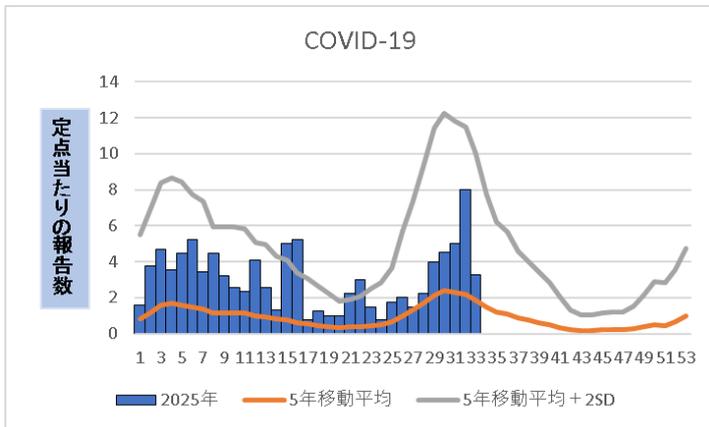
南丹保健所管内では、**水痘**が注意報レベル解除になりました。

京都府内全体(京都市以外)では、**伝染性紅斑(リンゴ病)**が警報レベル継続中です。

## 2025 年第 33 週の報告です。

- 新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は南丹 3.25(前週 8.00)、京都府 6.95(前週 5.98)となっています。
  - 手足口病の定点当たりの報告数は南丹 2.00(前週 0.00)、京都府 0.41(前週 0.78)となっています。
  - A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの報告数は南丹 1.00(前週 1.50)、京都府 1.81(前週 2.41)となっています。
  - 全国的に百日咳(全数報告疾患)の流行が継続しており、府内でも報告が続いています。第 33 週においては南丹保健所管内で 0 件(前週 0 件)、府内で 21 件(前週 16 件)報告されました。長引く咳には注意し、乳幼児は予防接種を確実にいきましょう。
- 京都府の百日咳に関する情報は[こちら\(最新版\)](#)を確認して下さい。  
百日咳に関する情報は[こちら](#)を確認して下さい。

## 今週のグラフ (下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています)



※横軸は週数 縦軸は定点当たりの報告数を示しています

- 『5年移動平均』は、過去5年間の平均値の変化を表しています。
- 『5年移動平均+2SD』は、過去5年間のデータのばらつきを考慮した上限を示しており、データの約95%がこの線より下に収まるとされる基準です。

### COVID-19 の報告数が増加しています！

京都府の COVID-19 の報告数が 6 月下旬以降増加傾向となり、第 33 週は定点あたり 6.95 と 2025 年に入ってから最も高い値となりました。南丹保健所管内では第 33 週は定点あたり 3.25 と前週よりも減少していますが、依然と高い水準が続いています。

COVID-19 の予防には、「手洗い」「マスクの着用を含む咳エチケット」「換気」などが大切です。熱中症に気を付けながら、感染症対策を心がけましょう。京都府の COVID-19 に関する情報は[こちら](#)を確認してください。

### 京都府の伝染性紅斑(リンゴ病)が警報レベル継続しています！

今年は 2019 年依頼の流行となっていて、第 33 週の定点あたり報告数は、南丹保健所管内で 0.5、京都府で 1.11 となっています。小児に多い感染症ですが、これまでに感染したことがない妊婦が感染するとおなかの赤ちゃんに感染することがあります。こまめな手洗い、マスクで感染症対策を心がけましょう。京都府の伝染性紅斑(リンゴ病)に関する情報は[こちら](#)を確認してください。

各定点把握疾患 発生状況(南丹管内)

	警報レベル		注意報	R7.33w		前週定点 (参考)
	開始	終息		定点当たり 報告数	前週比	
インフルエンザ	30	10	10(流行1)	0.50	↗	0.25
新型コロナウイルス感染症				3.25	↘	8.00
RSウイルス感染症				0.00	→	0.00
咽頭結膜熱	3	1		0.50	↘	1.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4		1.00	↘	1.50
感染性胃腸炎	20	12		0.00	↘	1.00
水痘	2	1	1	0.00	↘	1.50
手足口病	5	2		2.00	↗	0.00
伝染性紅斑	2	1		0.50	↘	1.00
突発性発しん				0.00	→	0.00
ヘルパンギーナ	6	2		0.50	↘	1.00
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	↘	1.50
急性出血性結膜炎	1	0.1		0.00	→	0.00
流行性角結膜炎	8	4		0.00	→	0.00

参考資料: [京都府感染症情報センター](#)

急性呼吸器感染症(ARI)について

急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスは、流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、未知の呼吸器感染症発生時に迅速に探知する等の目的で第15週より開始となりました。



○南丹保健所管内第33週報告数は123件(定点当たりの報告数:30.75)でした。

[京都府の情報はこちら](#)

最新情報は下記のリンク先でご確認ください(関連リンク)

・[京都府感染症情報センター](#)

更新時期: (原則) 毎週木曜日 14時 前週分の状況を更新

・[感染症の情報\(国立感染症研究所\)](#)